

MCV2#系

P店

## 標 題

# マークIIワゴン クルーズコントロールシステム ダイアグ消去方法追加のお知らせ

下記のサービス技術資料に一部記載漏れがありましたので、内容を追加します。

記

・対象資料

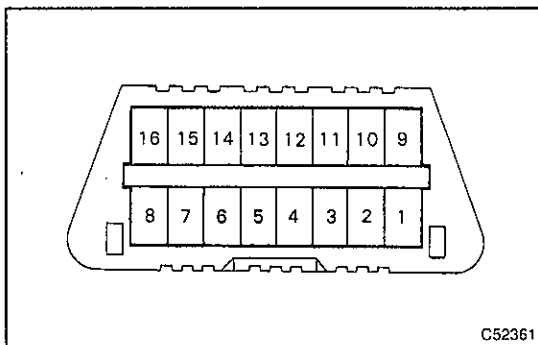
媒体	名称	品番	発行
本	マークIIワゴン修理書/追補版	62880	1998年8月

・該当部位

グループ	セクション	タイトル	本文	ページ (本)
エレキ	クルーズコントロール	クルーズコントロールシステム	機能点検	—

部位 クルーズコントロールシステム — 機能点検

<内容>下記の機能点検の内容を追加します。



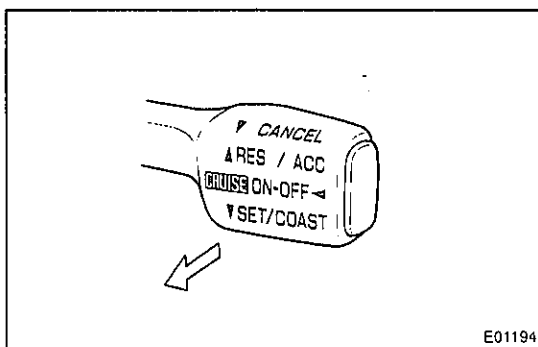
### 1. メインスイッチによるダイアグノーシスコード消去

- (a) 車速15 km/h未満であることを確認する。[\*1]
- (b) SSTを使用して、DLC3の13 (TC) 端子⇔4 (CG) 端子間を短絡する。[\*2]

SST 09843-18040

&lt;注意&gt;

故障の原因となるため、短絡位置を絶対に間違えない。



- (c) クルーズコントロールメインスイッチASSYのCANCELスイッチを押す。[\*3]
- (d) [\*1] → [\*2] → [\*3] の順序で作業を行い、クルーズコントロールメインスイッチASSYのメインスイッチを3秒以内に5回ONにする。[\*4]
- (e) ダイアグノーシスコードが消去され、正常コードが出力されることを確認する。[\*5]

&lt;注意&gt;

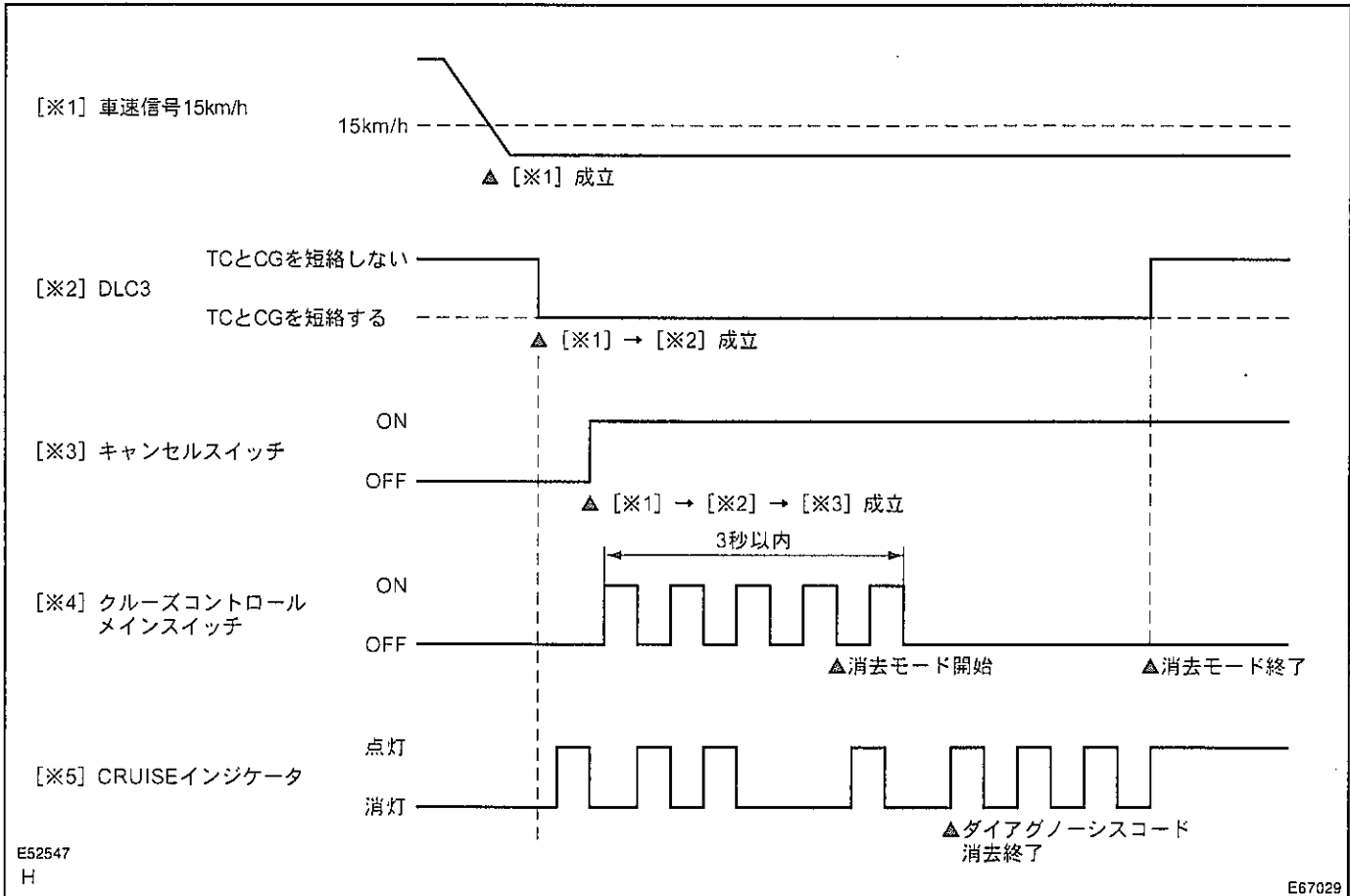
異常コードが出力された場合は、コードに従って再度修理を行う。

(f) ダイアグノーシスコード記憶消去モードを終了させる。

<参考>

下記に示す2種類の方法がある。

- (1) ダイアグノーシスコード消去完了後、車速15km/h以上にする。
- (2) IGスイッチをOFFにする。



サービス部 技術・人材開発室  
担当：五味 (05617-4-4682)